

うわさのこどもニュース

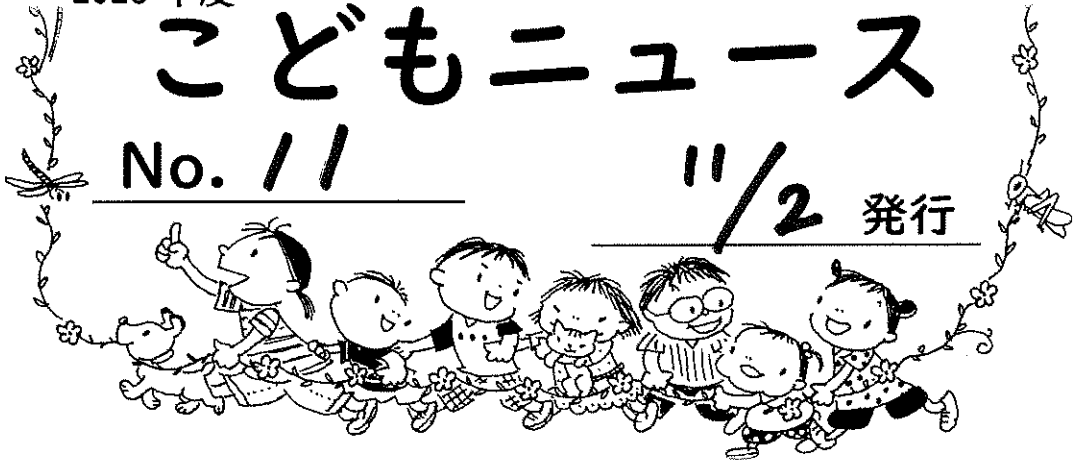
金城学院幼稚園

2023年度

# こどもニュース

No. 11

11/2 発行



## 【父母の会講演会—「ずっと、愛され、育ちあう幼稚園」—】

10月27日(金)父母の会主催の講演会が開催されました。今年度は幼稚園設立50周年にちなみ第4代園長加納真知子先生と第5代で前園長の馬淵宣子先生をお招きし、「ずっと、愛され、育ちあう幼稚園」というテーマのもと、園の保育についての想いやお二人の保育者として、また働く女性としての日々、そして一人の母親としての人生など多岐にわたり、お話しを伺いました。

幼稚園設立3年目に保育者として着任された真知子先生、時代的に「幼稚園は小学校の準備をするところ」という考え方が主流だった中で名誉園長である西川道子先生と共に、今に続く「縦割クラス編成」と「主体的な遊びを中心とした保育」を模索されました。当時全員が着用していたスモックを「どの子ども同じに見えちゃうからやめよう!」と決断されたそうです。設立7年目に就職された宣子先生は丁寧な言葉で子ども達と接したいと願いながら毎日を過ごし、4,5歳児の縦割保育に3歳児が加わる3学年の異年齢保育の開始に立ち会いました。どの時代にも課題があり、目の前の子ども達から学び、職員同士が本当によく話し合いながら「一人ひとりを大事にする保育」を追求している事は今に続く伝統です。

保育者としての想いと同時に、お二人が神様と共に歩いて来られた人生についても、うかがうことができました。働く女性として、また母親としてのお話しには、一人の親として迷い、悩みながらも一生懸命、子育てされてきたご経験がたくさん詰まっていて、「きっと大丈夫。信じてあげて」という言葉に胸を打たれ、励まされました。

父母の会では今後、記録動画を視聴する会なども予定されているようです。当日、ご都合

のつかなかった方、体調不良等でご参加できなかった方はぜひ、ご覧ください。本当に素晴らしい企画をありがとうございました。

### 【今回のこどもニュースはアンケート特集】

今回も園のアンケートにお答えいただき本当にありがとうございます。

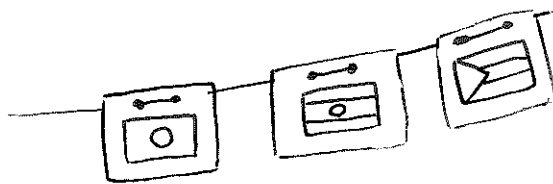
さまざまな行事や保育の折々をお願いしています園のアンケートは、ありがたいことに、どのアンケートも90%以上のご提出をいただいています。いただくご意見や感想は私達保育者の励みにもなり、また課題の発見にもつながり、園の保育をより良いものにしていく振り返りの材料として大事にしています。

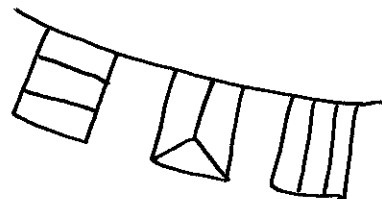
今回も当日への感想だけではなく、運動会を迎えるまでや終了後帰宅してからの子ども達のご家庭での様子をあらためて知ることができました。競技に対してのご意見、また当日に関しても競技そのものだけではなく、様々な場面について暖かいまなざしのご感想、ご意見をいただきました。クラスや学年を越えて子ども達の育ちについて喜び合えるコメントがとても多いのは、異年齢ならでは、また毎年クラス編成を行い、子どもも大人もたくさんの仲間と関わりあうからでないでしょうか？あらためて子ども達を取り巻く大人同士の信頼関係の大事さに気づかされます。本当にありがとうございます。

今年度は人数制限がなくなり、また親子競技の復活など、この数年の実施内容と変わったところもありました。その行事内容の意図についてのこどもニュースが発行される前にプログラムが配布されたために、皆様にはご心配をおかけしました。

どの保育にも行事にも私達は子ども達が豊かな経験をしてほしい、その経験を通して育ってほしいと意図や願いを持っていますが、今後もその意図や願いをおうちの方々としっかりと共有してまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。





## うんどうかいを終えて…☆

数年ぶりに人数制限の無いうんどうかい、多くの方たちに来ていただいて盛り上がりましたね!

うんどうかいアンケートからは、子どもの成長を実感した喜びの声や、実際に競技に参加して感じた想いなどが伝わってきました。今回はアンケートの一部を紹介させていただきます。

○→おうちの方から

★→幼稚園からのコメント



### 【成長を感じて】

○リレーの結果にすごく悔しいと言っていました。今まで娘の感情に嬉しい、悲しい気持ちはたくさんみてきましたが、悔しい感情がうまれたのははじめて?なのかと思うくらい家に帰ってきてからもずっと言っていました。その時感じた悔しい気持ちは娘の中で何か成長させてくれるものだと思いました。そんな姿を今年はみることができ、心の成長をみることができ、良かったです。

○思えば年少の頃は、引っ込み思案すぎて、競技は全て不参加で、どうなっていくのだろうと不安になったのを覚えています。今年はまさかの第一走者で立派にリレーを走り、メダル係では走れなかった年少さんに自ら駆け寄り、メダルをかけてあげていました。2年前は反対の立場だったのに、とジーンとしました。

○玉入れて自分のチームが負けてしまった事がとても悔しかったようで、いつもニコニコなのに悔しい表情を見せているシーンもあり、練習から一生懸命頑張ってたんだろうな〜とストーリーに思いを馳せておりました。

○自分のクラスはリレーで負けてしまったけれど、ビデオや写真を見ながら「○○くん速かったね!□□ちゃんががんばっているね!」と他のクラスのお友だちのことも応援していて、年長さん全体で育ち合っているのだと思いました。

○来年、再来年の姿がどのように変わっていくのかな?と楽しみにもなりました。

○憧れの年長さんたちは「役割」をもって、運動会でのアナウンスや準備などをやっている姿に、来年の息子の姿を想像しながら感動し、金城学院幼稚園の子ども達と作る運動会がやっぱり好きだなと改めて思いました。

★「走ることが速くなった」というような目に見える部分だけでなく、心の成長を感じたというアンケートをたくさんいただきました。目に見える成長ばかりを捉えがちですが、日々の保育や生活の中で蓄えている目に見えない部分の育ちを、おうちの方々と共に喜び合える機会になったこと保育者一同嬉しく思っています。また、今年の姿から来年以降への期待をもって、これからの毎日を楽しんでいこう!と思えるうんどうかいになりました。

### 【親子競技】

- 初めての親子競技あり運動会は、送迎でお見かけするだけの親御さんたちそれぞれの個性や才能など、新たな一面にも出会える楽しい機会となりました。
- 年長スペシャルに関しては様々な意見があったかと思いますが、当日親子で参加している姿を見て、見ている側も楽しめたので、良かったな~と思います。
- 例年通りの年長スペシャルを見られないと知った時は、正直残念な気持ちの方が多かったのですが、当日の騎馬戦の熱い戦いを観ていたら、子どもたちのイキイキした表情が印象的で、少し前に感じていた残念な気持ちが打ち消されるぐらい最高でした。
- 今年は学年ごとの親子競技ということで、以前の異年齢が合同の親子競技より「その歳の子が親と一緒に楽しめる」ということが、とても考えてあり、親も子もとても楽しめたと思います。

★以前の親子競技をご存じの方も、今年度初めての方もみえたかと思います。昨年とは違う競技の形に様々な思いがあり、またその思いを伝えていただきありがとうございました。子どもたちだけでなく、おうちの方々も一緒に楽しめたうんどうかいになりました。子どもたちにとっても大人の本気を間近で感じて、喜びや悔しい思いを共有できたことはこれからの力につながっていくと思います。

### 【助け合い】

- 騎馬戦の事前練習では、未就園児連れのため、行けないな~と思っていたところ、友達のママが参加してくれていて、我が子とペアになって練習してくれたようでした。親である私達も助け合うことのできる金城はホントに素敵だと思いました。おかげで本番でも我が子ととても楽しく取り組む事ができました。



○下の子の授乳で上の子の競技が見られなかった時は、他の子のママが「写真撮っておくね!」と声をかけてくれて、ママ同士の繋がりを大事にしてくれる金城ならではのだなと感じました。

○下の妹をつれて大人は私だけの参加でしたので、親子競技の時の預け先に困りました。

○親子競技のときに、未就園児を見ておいてくれる人をさがすのに苦労されている保護者がいました。年中・長になると知っている保護者も増えてきますが、年少はちょっと辛そうです。何か手立てはないものか〜と考えています。

★皆さまの助け合いに支えられ、無事にうんどうかいを終えることができました。ありがとうございました。おうちの方々の思いやりの気持ちに、心が暖かくなりました。

競技中の未就園のお子さんについても、御心配をおかけしました。幼稚園としても全員が参加しやすい様、もっと工夫していきたいと思えます。いただいたご意見を参考に、来年度に向けて対策を考えていきます。

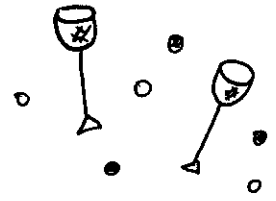
### 【みんなで応援】

○年少になり縦割りにになって年中、年長さんの保護者の方とも関わりが増え、子ども同士仲良くしている子なども応援したくなるので、全ての競技を楽しむことができました。

○年少の頃より、子ども親も、たくさんの方との仲が深まって、すべての応援に力が入って、忙しかったです!とてもアットホームなのにすごく感動する、今年も本当に素敵な運動会でした。

○私たちは、ひとつのチームだということを改めて感じた運動会でした。

★《うんどうかいのお知らせ》にも書いたように、クラスやチーム関係なくみんなの頑張り・成長を喜び合い応援し合えるうんどうかいであってほしいという願いを持っています。どうしても自分のお子さんだけに目が向きがちですが、周りの子ども達の成長も喜び、大きな声援を送って下さった事、とても嬉しく思います。コロナ禍中は、なかなか他の子ども達や保護者の方と交わる機会が無かったですよね。けれど、段々と状況が落ち着いてきて、またこうして園全体で関わり合い、繋がり合っていける事も、本当に嬉しい限りです!



## 【うんどうかいに参加して】

- プログラムが配られ、子どもだけの種目が減ってしまった…と感じていましたが、その後の子どもニュースでしっかりと丁寧に園の願いが書かれていて、今の子どもたちのことを一番よくわかってくださっている先生方が考えてくださったことなのだからと、一時の残念さは取り払われました。
- 運動会前に配られた“子どもニュース”を読み、どのようなねらいでどんな運動会にしたいと考え、先生方や子どもたちが取り組んできたのかがとてもよく伝わってきました。当日の子どもたちの生き生きとした姿、真剣な表情、楽しそうな笑顔を見て、本当にいい幼稚園、良い運動会だなと感じました。
- 運動会のねらいにあったように、親子で運動することを楽しめるすてきな運動会でした。
- 子どものアナウンスや年長さんが係を担っていたところがとても素敵だなと思いました。にじぐみだけ、年少だけ…の競技ではなく“みんなで”と感じたし、金城の年長さんたちが、年長さんとしての意識自覚が高いのは、このような経験を経ているからなんだあと感じました。
- 家庭の中とは別世界が、少しずつ幼稚園という場で作られて、その輪の中で刺激を受け合っているんだと肌で感じました。
- カメラ片手に応援するだけではなく、一緒に参加し、子どもの成長を文字通り隣で感じられる、素敵な運動会でした。
- 見ばえや仕上がりを重視した運動会ではなく、子ども達の遊びの延長上に楽しみながら仕上がった運動会がとても大好きです。大人も子どももリラックスして楽しむことができました。
- 広くない園庭ですが、毎日遊んでいる場所でやるからこそそのものだと思います。
- 普段からの関わりや毎日の積み重ねで出来ているんだなど改めて感じました。

★こどもニュースを丁寧に読んでくださりありがとうございます!見せる為だけのうんどうかいではなく、日々の生活・遊びの中で子ども達が経験したり、関わったり、葛藤したりしながら成長していることが、来てくださった方々にも伝わる機会にしたいなあと考えています。

## 【片付け】

- 片付けの指示が前日から掲示され、確認しやすかったです。
- 終了後の片づけについて、ボードにやる事がリスト化されているのはわかりやすく良かった。更に片づける際の before 写真があるとより良いと感じた。

★うんどうかいの片付けにご協力いただき、本当にありがとうございました!!昨年度、保護者の方からのご意見を参考に、今年は片付け内容を掲示させて頂きました。来年度も、今年頂いたご意見を参考にさせて頂きたいと思っております。

## 【その他】

- 年配の方が皆さん立って見ているしんどそうなのは気になりました。もう少し椅子を増やすか、座っている若い方に変わってもらえるような声掛けがあると良かったかと思っております。
- おじいちゃんおばあちゃんが来ていましたが、座るところがもう少しあればいいかなと思っておりました。
- 蜂が飛んでいるのを見ました。やはりこういう場所ですので、気を配っていただけると助かります。
- 大きな蜂が保護者エリアをぐるぐると飛んでいてみんな怖がっていました。

★座席については、数に限りがありますので、皆様で譲り合って座っていただけると有難いです。

蜂が飛んでいたことに関しては、怖い思いをさせてしまって申し訳ありませんでした。事前に業者の方に入っていただき、園内に巣が無いかわかるか調べて頂いていました。(園内に巣はなかったです)けれど、山も近いのでどうしても飛んできてしまいます。飛来を全て無くすことは難しいですが、来年度も蜂の状況を見て、事前にてできる対策をとっていきたいと思っています。

## 【うんどうかいのその後…】

- 年長さんのリレーが印象に残っているようで、家にある丸い物を手に持ってリレーごっこをしました。
- 週末、さっそく家で色々な係が決められて、うんどうかいの再現遊びが始まりました。



た(笑)パズルで遊ぶ時には「パズルを渡す係」「応援する係」など割りふられました。経験を通して、また一つ子どもの成長を感じることができ嬉しく感じました。

- 運動会が終わったその日から、かけっこや体操、何度もしていた姿をみて、たくさん意欲を得ることができたんだなあと、うれしかったです。
- 運動会の次の日、娘から休んでいたおともだちもよーいドンして、メダルをもらってハグしたんだよと聞きました。ただメダルを渡して終わりじゃなく、プチ運動会をしたんですね、とても素敵です。

★リレーごっこや年長さんの係ごっこ…かわいい姿が想像できます♪うんどうかいはその日ではい終わり!ではなく、その後も子どもたちの中ではずっと続いていくのですね。うんどうかいを経験して自信をつけた子どもたちが、より意欲的に運動遊びを楽しんだり、年上児の姿に憧れを持ち、自分もやってみようと挑戦する姿もあります。日々の生活の延長上にあるうんどうかいだからこそ、終わった後もまた日常に繋がっていくのですね♪

毎年子どもたち一人ひとりの姿は変わっていきます。好きな遊びや、挑戦していること、自信をつけた活動など…そんな子どもたちの姿をしっかりと捉え、ねらいやねがいをもって競技の内容を考えています。すべての競技について、その年の子どもたちにとってどんな内容が良いだろうか…と話し合いを重ねています。子どもたちの姿が毎年違っているように、うんどうかいや行事の内容や形も変わっていきます。そのため、毎年同じ競技とは限りません。その年その年のうんどうかいを子どもたちと一緒に、楽しんでいただければと思います。そして、私たち保育者の思いはこれからもこどもニュースなどを通して、おうちの方々にお伝えしていきたいと思っております。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました!

(あきこ & あゆみ)